

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	平成28年度	平成27年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	778,804	864,648	△85,844
減価償却費	1,335,888	1,285,460	50,428
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,091	△95,094	139,185
賞与引当金の増減額(△は減少)	552	1,771	△1,219
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△689	△1,578	889
長期前受金戻入額	△216,033	△202,409	△13,624
受取利息及び配当金	△2,570	△4,522	1,952
支払利息及び企業債取扱諸費	127,344	145,663	△18,319
固定資産除却損	23,419	13,900	9,519
固定資産売却損益(△は益)	△1,576	454	△2,030
未収金の増減額(△は増加)	30,554	△37,983	68,537
その他流動資産の増減額(△は減少)	36	16	20
未払金の増減額(△は減少)	9,292	20,585	△11,293
預り金の増減額(△は減少)	△1,610	8,729	△10,339
小計	2,127,501	1,999,640	127,861
利息及び配当金の受取額	3,639	4,652	△1,013
利息の支払額	△127,344	△145,663	18,319
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,003,796	1,858,629	145,167
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△2,367,816	△2,071,509	△296,307
有形固定資産の売却による収入	3,157	2,825	332
国庫補助金等による収入	471,507	275,258	196,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,893,152	△1,793,426	△99,726
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	900,000	600,000	300,000
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△578,235	△700,883	122,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	321,765	△100,883	422,648
資金増加額(又は減少額)	432,409	△35,680	468,089
資金期首残高	3,344,240	3,379,920	△35,680
資金期末残高	3,776,649	3,344,240	432,409

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー(CF)で表される。

建設改良に伴う有形固定資産の取得等の投資活動で約18億9,315万円のマイナスが発生しているが、業務活動で増加した資金約20億380万円及び建設改良等の財源に充てるための企業債の借入等の財務活動で約3億2,177万円増加した結果、本年度末における資金は、前年度に比べて約4億3,241万円増加し約37億7,665万円となった。